



新潟市議会議員



# 荒井ひろゆき通信

2019年 春  
第6号

発行/荒井ひろゆき  
電話/025-278-5312  
FAX/025-278-5311

## 目次

表面

- はじめに
- 平成30年12月定例会 一般質問要旨(抜粋)
  - 組織改編など観光行政の強化について
  - 新潟シティマラソン日程変更の提案

裏面

- 新潟市助産師会の取り組みへの支援について
- 越後石山駅の橋上化を含むバリアフリー化の早期実現について
- 東区バス「紫竹・江南ルート」ついに運行終了
- 最近の活動のご紹介
  - 成人式に参列

## はじめに

平成31年、本市は新潟港開港150周年を迎えました。観光交流・物流の拡大、拠点性の向上など、改めて未来に向けての飛躍を考える契機としたいです。

平成31年度当初予算案は3922億円と発表されました。目を引く施策としては、子ども医療費助成の拡充、産業振興等が挙げられます。また33億円まで減った基金残高は、31年度末では40億円まで積み増す計画です。

10月に開催される新潟県・庄内地方デスティネーションキャンペーンは、食文化を通じた広域周遊により本市の魅力を発信するチャンスととらえています。引き続き地域の活性化と充実した市民サービスを目指していきます。



新潟開港150周年記念式典にて

## 平成30年12月定例会 一般質問要旨(抜粋)

### 組織改編など観光行政の強化について

■質問 県は来年度から観光局を知事直轄の部局に格上げし、「交流人口の増加、インバウンドへの対応に強力に取り組む体制にする」と観光に強い花角知事は意欲的であるが、市長は交流人口の拡大を推進するにあたり、組織改編など具体的に新たな強化策は考えているのか。

■答弁(中原市長) 本市においては、これまで、インバウンド施策などの強化を図るため、観光行政強化のための組織づくりに努めてきた。今後さらに施策を効果的に展開するための組織のあり方については、より充実したものとなるよう、組織改編も含め、引き続き検討していく。

### その後、2019年度 主な組織改正(案)にて

国際・広域観光課が、国際観光課と広域観光課に分課・新設され、交流人口の拡大に向けた取組体制を強化する改編案が発表された。



大型クルーズ船の寄港も増えてきました

### 新潟シティマラソン日程変更の提案

■質問 新潟シティマラソンは本市を代表するスポーツイベントであり県外からの参加者も多いが、10月の3連休の最終日に開催されていることで飲食、宿泊など経済波及効果を考えると機会損失になっていると言わざるを得ない。そこで3連休の中日に日程変更することを提案する。予算をかけずに実行できることである。これをやらない手はない。

■答弁(中野文化スポーツ部長) ランナー向けインターネットサイトには、3連休中での開催を望む声が多く寄せられている。また、大会の前後が休日になることで、参加者が宿泊しやすく、観光や飲食を通じて本市の魅力をより感じていただけたらと思う。来年の大会に向け、関係機関と協議を進めていく。

### その後3月12日市長会見にて

次回は3連休の中日に変更され10月13日(日)の開催決定が発表された。ゲストランナーの高橋尚子さん(シドニー五輪・金メダリスト)も勿論参加である。



**新潟市助産師会の取り組みへの支援について**

■質問 新潟市助産師会は、産後間もない母子の家庭を訪問する、こんにちは赤ちゃん訪問事業や、学校へ出向いて行う命の講座などを行っている。命を守ることや少子化対策などに貢献するこれらの事業が継続できるよう、今年度減額した補助金を戻すべきではないか。

■答弁(山口こども未来部長) 新潟市助産師会は、本市の妊産婦や新生児の健康増進に大きく寄与しており、助産師の専門性を生かした活動や支援については、本市としても重要と考えているので、今後も協働した取り組みを推進するとともに、その支援についても検討していく。

**越後石山駅の橋上化を含むバリアフリー化の早期実現について**

■質問 国のバリアフリー法の指針により、2020年度までに1日当たり利用者3,000人以上の駅はバリアフリー化を求められているが、越後石山駅の1日当たりの利用者数は、約4,100人であり大きくその数を上回っている。

超高齢化が進行する中、橋上化、バリアフリー化が急務と考えるが、所見を伺う。

■答弁(柳田土木部長) 平成24年度より、駅の西口側から段階的に事業を進めているが、東口駅前広場などがいまだ計画段階にあり、2020年度までの駅の橋上化を含めたバリアフリー化は困難な状況にある。引き続き地域の合意形成を進めるとともに、JR東日本と連携を図りながら、早期の完成を目指し、段階的に事業を推進していく。



西口から見た越後石山駅

**最近の活動のご紹介**

平成31年1月13日(日) **成人式に参列**

文教経済常任委員として、平成30年度新潟市成人式に参列致しました。

本市の未来を担う新成人の晴れ着姿を頼もしく拝見し、壇上よりお祝いを申し上げます。

東京圏一極集中に歯止めがかからない昨今、若者にとって魅力のある雇用創出、所得向上が求められています。そのためにも産業振興政策を推し進める必要を感じています。

さらに子育て支援、教育や福祉の充実も図り、本市の魅力アップにつなげていきたいと強く思いました。



平成30年度新潟市成人式にて

**東区バス 「紫竹・江南ルート」 ついに運行終了**

3年間にわたり公共交通の空白地域を埋めるために実施してきた社会実験は、結果的に利用者数が目標に届かず、平成31年3月で終了となり、本格導入には至りませんでした。

期間中は傾向を分析しながらダイヤ改正を毎年行い、利用者も徐々に増え、高齢者の通院など地域の足としての役割も果たしており、残念に思います。今後はコミュニティバスやデマンド交通などの導入も考え、引き続き地域と共に意見を重ねていきたいと思ひます。

発行者 新潟市議会議員 荒井宏幸

所 属 保守市民クラブ  
文教経済常任委員会  
観光交流促進調査特別委員会  
阿賀北広域組合議会議員

事務所 〒950-0852 新潟市東区東中野山2-3-9  
TEL.025-278-5312 FAX.025-278-5311

自 宅 〒950-0852 新潟市東区石山3-6-12  
TEL・FAX.025-286-2535  
E-mail:hope@arai-hiroyuki.com